

裏にご記入ください
引き換え券
(切り取り無効)

4館 スタンプラリー

お屋敷4館に入館してスタンプを集めましょう! 全て集めた方に先着でプレゼントがあります!

※オリジナルグッズもしくはピンバッジ各種の中からいずれか一点をお選びいただけます。各プレゼントはなくなり次第順次終了です。

名古屋 お屋敷めぐり

大正昭和時代を名古屋で味わう、大人の時間旅行。

開催期間

令和5年 9月15日(金) ~ 10月9日(月) 祝

※景品がなくなり次第終了

休館日

各館とも 月曜日(祝日の場合は翌平日)

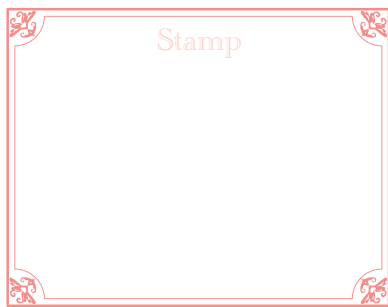
主催: 文化のみち二葉館 文化のみち榎木館 旧豊田佐助邸 揚輝荘

文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】



ひときわ目立つオレンジ色の洋風屋根、ステンドグラスの光がこぼれる大広間、そして落ち着いた伝統的な和室—東洋と西洋の文化が溶け合った大正ロマンの香り高い館は、日本初的女優と謳われた川上貞奴と電力王と称された福沢桃介が、大正から昭和初期にかけて暮らしていた邸宅を移築・復元したものです。

- ◆ 名古屋市東区榎木町3-23
- ◆ TEL 052-936-3836
- ◆ 入館料 一般200円
- ◆ 開館時間 10:00~17:00
- ◆ URL <https://www.futabakan.jp/>

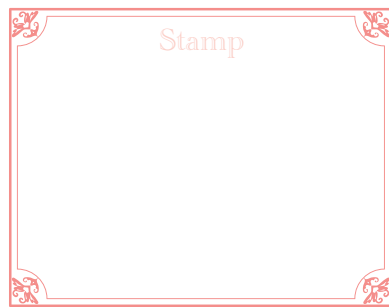
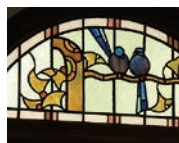


文化のみち榎木館



陶磁器貿易商、井元為三郎によって建てられた館は、都会のけん騒を忘れさせるように静かに佇み、大正末から連なる記憶を今へ伝えていきます。ステンドグラスの色鮮やかな光に満たされた洋館、懐かしい薫りにあふれる和館、四季折々の趣が時を忘れさせる庭園、それら全てが皆様のご来館をお待ちしています。

- ◆ 名古屋市東区榎木町2-18
- ◆ TEL 052-939-2850
- ◆ 入館料 一般200円
- ◆ 開館時間 10:00~17:00
- ◆ URL <https://shumokukan.jp/>



旧豊田佐助邸

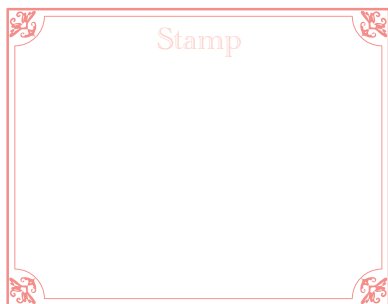


発明王・豊田佐吉の弟で佐吉を支えた実業家の豊田佐助が住んでいた邸宅です。大正時代に建てられた白いタイル張りの洋館と広い間取りの和館で構成されており、鶴亀に「とよだ」の文字をデザインした換気口など、建物へのこだわりをうかがい知ることができます。



- ◆ 名古屋市東区主税町3-8
- ◆ 問合せ先 名古屋まちづくり公社
TEL 052-222-2314

- ◆ 入館料 無料
- ◆ 開館時間 10:00~15:30
- ◆ URL <http://www.city.nagoya.jp/kankobunka/koryu/page/0000011585.html>



※旧豊田佐助邸では景品交換ができませんので、恐れ入りますが他の3館にてお願いします。

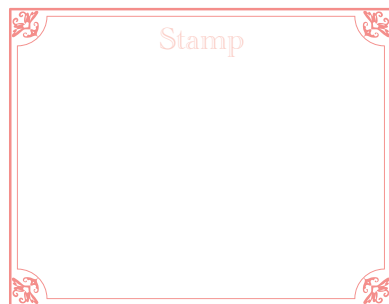
揚輝荘 聴松閣(南園)



大正から昭和初期にかけて(株)松坂屋の初代社長15代伊藤次郎左衛門祐民によって造営された別邸です。南園に位置する聴松閣は、ハーフティンバーの外壁など山荘風の外観をした迎賓館で、昭和12年に建築されました。地下1階~地上3階の各室は各国様式がミックスされており、地階は全体がインド様式となっています。



- ◆ 名古屋市千種区法王町2-5-17
- ◆ TEL 052-759-4450
- ◆ 入館料 一般300円
北園は入園無料です
- ◆ 開館時間 9:30~16:30
- ◆ URL <https://yokiso.com/>



※揚輝荘北園には今回のスタンプの設置はありません。



市バス・地下鉄での
お出かけが便利でお得です。

ドニチエコきっぷ

一日乗車券を利用してご来館の方は入館料割引!

文化のみち二葉館

文化のみち榎木館

一般 200円 ▶ 160円

揚輝荘 聴松閣

一般 300円 ▶ 240円

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりーとライン(高架区間)、名鉄バス、あおなみ線、リニモでは利用できません。

〈アンケート〉
 ① 男性・女性 代
 ② 年代 代
 ③ 参加回数 回

名古屋 お屋敷めぐり

4館
スタンプ
ラリー

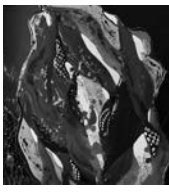
開催期間 令和5年 9月15日(金)～10月9日(月)祝

文化のみち二葉館

◆ ステンド硝子アート&ステンドグラス作品展 Chat Glass Power Time

ちゃっとはようガラスの魅力を感じてちょう

期間/9月16日(土)～24日(日) ※19日(火)は休館
 場所/1階 集会室、2階 和室
 参加費/無料(別途要入館料)
 ※9月18日(月・祝)は、市内在住65歳以上は入館料無料になります。
 (入館に際しては、敬老手帳などのご提示をお願いします)
 作品/K.M.Y.ステンド硝子アート協会



今回のテーマでは、“Chat GPT”を名古屋弁に変換してみました！
 昔の物を大切にする精神と、SDGsの理念を込めて制作した作品をぜひご覧ください。

◆ 「五感で楽しむ伝統芸能」三味線体験付 無料講習会 第二回 心の情景 小唄 “男唄・女唄”

日時/9月30日(土) 13:30～14:45
 場所/1階 大広間 定員/10名
 申込方法/9月12日(火) 10:00より
 文化のみち二葉館へ電話申込
 参加費/無料(別途要入館料)
 協力/端唄 華房流華の会



華房真子 華房小真

地方唄・俗曲・座敷歌・端唄・小唄・甚句・どいつー伝統芸能と呼ばれるもののうち、とりわけ「歌」については様々な種類の楽曲があります。今回は、「小唄」の歴史や特徴を、歌と三味線の演奏を聞きながら楽しく学びます。また三味線の体験もできます。普段着で気軽にご参加ください！

◆ 没後10年 連城三紀彦展 ―花・幻・謎―

期間/10月5日(木)～11月30日(木)
 場所/2階 展示室
 協力/あいち文学フォーラム他



名古屋生まれの連城三紀彦は、『変調二人羽織』で探偵小説専門雑誌「幻影城」の第3回新人賞に入選。『恋文』で第91回直木賞を受賞しました。抒情豊かなネオ・ロマンの作家であり、技巧的なミステリ作家としても知られる連城三紀彦についてご紹介します！

旧豊田佐助邸 無料公開中

※西隣の旧春田鉄次郎邸も見学することができます。(レストラン部分除く。)
 旧豊田佐助邸の係員までお申し出ください。



旧豊田佐助邸(左:洋間、右:和室)



旧春田鉄次郎邸

文化のみち榿木館

◆ (帰) 家原美術館 <かえてきたいえはらびじゅつかん>

期間/9月9日(土)～24日(日)
 ※11日(月)、19日(火)は休館
 参加費/無料(別途要入館料)

画家・家原利明(いえはらとしあき)の、色鉛筆で描かれた絵画作品を中心に、彫刻や手ぬぐい、置物やコレクションなどを展示。子どもから大人まで、「すがたやさしく、色うつくしい」家原作品を、文化のみち榿木館とともに楽しめる展覧会です。今回、10年ぶりとなる「文化のみち榿木館」での展示は、まさに「かえてきた家原美術館」。作品を通して、これまでの道すじや集大成をお楽しみください。



◆ トークイベント:副館長(家原利明)によるお話し

日時/9月17日(日) ①11:00～11:45
 ②14:00～14:45
 場所/文化のみち榿木館 和室
 参加費/無料(要 榿木館入館料)
 出演/家原利明(画家)
 進行/石黒佳名子(一般社団法人 BuddhismAshram 代表)

揚輝荘

◆ 揚輝荘開館10周年記念企画 揚輝荘四季折々「音♪」 vol.3洋館で「和」

日時/9月24日(日) ①11:00～11:40
 ②13:30～14:10
 場所/揚輝荘(南園)聴松閣地階多目的室
 定員/各48名
 参加費/無料(要 聴松閣入館料)
 申込方法/氏名、連絡先をFax:052-759-4451、
 E-mail:yokiso@nup.or.jp、又は直接窓口
 申込締切/9月17日(日)
 出演/中井智弥



音域の広い二十五弦琴を駆使し、圧倒的なテクニックとダイナミックかつ繊細な音楽で、箏の世界を繰り広げます。

◆ 展示会「広小路のいま・むかし」

期間/9月16日(土)～10月1日(日) 9:30～16:30
 場所/揚輝荘(南園)聴松閣2階展示室
 参加費/無料(要 聴松閣入館料)



■ 文化のみち二葉館 東区榿木町3-23
 ■ 文化のみち榿木館 東区榿木町2-18
 ■ 旧豊田佐助邸 東区主税町3-8

○ なごや観光ルートバス「文化のみち二葉館」下車
 ○ 市バス「白壁」、「清水口」、「東片端」、「飯田町」下車
 各バス停から徒歩1分～5分(基幹バス2号、幹名駅1が便利です。)
 ○ 地下鉄桜通線「高岳」下車
 1番出口または2番出口から北へ徒歩10分～13分

■ 揚輝荘(聴松閣) 千種区法王町2-5-17

○ 市バス「法王町」下車 徒歩5分 ○ 地下鉄東山線「覚王山」下車 1番出口より北へ徒歩10分

※バス停、地下鉄出口から各施設へは案内図を参考にお越しください

